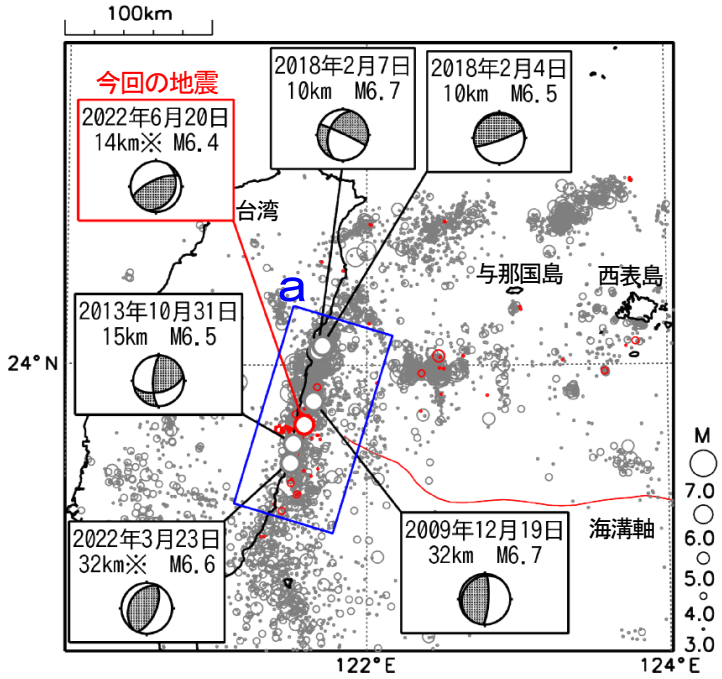
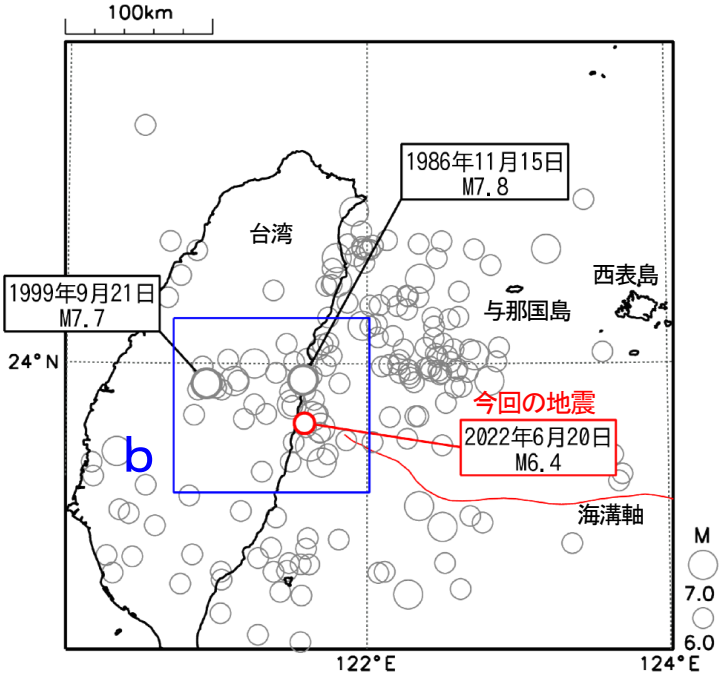
６月 20 日　台湾付近の地震

震央分布図
（2009 年９月１日～2022 年６月 30 日、
深さ０～50km、M≧3.0）
2022 年６月の地震を赤く表示
図中の発震機構は CMT 解



※の付いた地震の深さは CMT 解による

震央分布図 ※
（1919 年１月１日～2022 年６月 30 日、
深さ０～100km、M≧6.0）
2022 年６月の地震を赤く表示

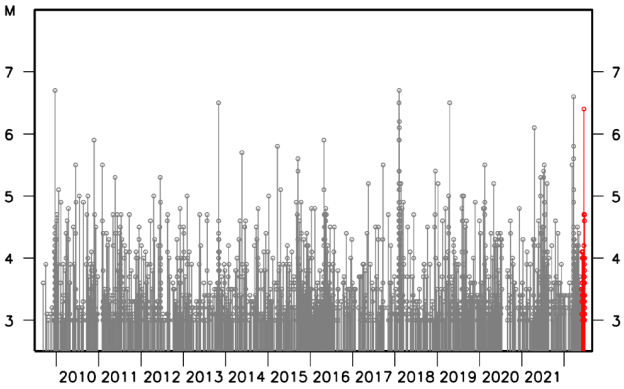


1986 年 11 月 15 日の地震の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。その他の震源要素は気象庁による。

2022年６月20日10時05分に台湾付近の深さ14km（CMT解による）でM6.4の地震（国内で震度１以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

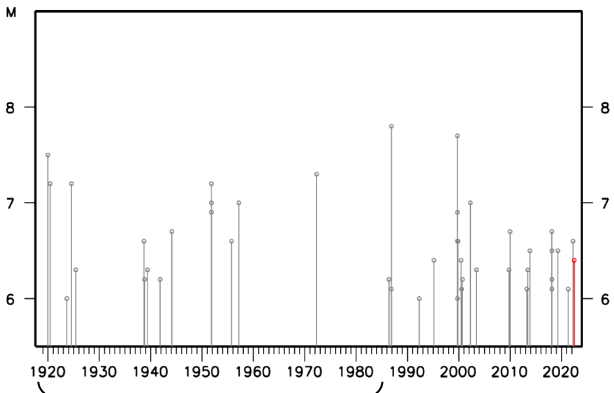
2009年９月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域ａ）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2009年12月19日にはM6.7の地震（国内で観測された最大の揺れは震度３）が発生した。

領域ａ内のＭ－Ｔ図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1986年11月15日にはM7.8の地震（国内で観測された最大の揺れは震度３）により、台湾では死者13人、負傷者45人の被害があった。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測した。また、1999年９月21日にM7.7の集集地震（国内で観測された最大の揺れは震度２）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図



（この期間は検知能力が低い）